

碧南市地域農業再生協議会 次第

日時 令和4年4月25日（月）

午後3時から午後4時まで

場所 碧南市役所7階 議員大会議室

1 あいさつ

2 議事録署名人選任

3 議事

(1) 第1号議案 令和3年度事業報告及び収支決算について

(2) 第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算（案）について

4 その他

令和4年度会議開催予定

(1) 碧南市地域農業再生協議会 懇談会

令和4年7月25日（月）午後1時15分から午後2時まで

(2) 第2回碧南市地域農業再生協議会

令和4年8月25日（木）午後1時15分から午後2時まで

(3) 第3回碧南市地域農業再生協議会

令和5年1月27日（金）午後2時から午後3時まで

令和4年度 碧南市地域農業再生協議会会員名簿

令和4年4月1日現在

整理
番号

役職	氏名	所属職名
1 会長	瀬垣田 政信	碧南市長
2 副会長	神谷 昌明	碧南市農業委員会会長
3 会員	市古 昭子	碧南市農業委員会委員
4 会員	黒田 実	碧南市農業委員会委員
5 会員	金子 さか江	碧南市農業委員会委員
6 会員	長谷部 実	碧南市農業委員会委員
7 会員	山中 力四郎	碧南市農業委員会委員
8 会員	加藤 浩孝	碧南市農業委員会委員
9 会員	角谷 正子	碧南市農業委員会委員
10 会員	鳥居 勝行	碧南市土地改良区副理事長(碧南市農業委員会委員)
11 会員	原田 孝司	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員(JAあいち中央理事・JAあいち中央営農部会代表・農地利用集積円滑化団体)
12 会員	磯貝 孝弘	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
13 会員	金原 節子	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
14 会員	下島 良一	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
15 会員	杉浦 孝明	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員(JAあいち中央営農部会代表)
16 会員	石川 清勝	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
17 会員	多田 育男	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
18 会員	近藤 正孝	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
19 会員	藤関 弘之	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
20 会員	永坂 邦男	碧南市農業委員会農地利用最適化推進委員
21 会員	山中 光弘	JAあいち中央営農部会代表(愛知県農業共済組合)
22 会員	鈴木 良樹	JAあいち中央営農部会代表
23 会員	野村 勝己	JAあいち中央営農企画部副部長(営農企画課担当)兼課長(部長代行)
24 会員	生田 和重	碧南市経済環境部長(碧南市地域担い手育成総合支援協議会会員)
25 監事	藤浦 利吉	碧南市農業委員会副会長
26 監事	三島 孝二	JAあいち中央碧南地区担当理事 (碧南市農業委員会委員・農地利用集積円滑化団体)

オブザーバー

	隠岐 泰彦	東海農政局地方参事官室(愛知支局)総括農政業務管理官
	森 信隆	東海農政局地方参事官室(愛知支局)主任農政推進官
	稲垣 清敬	東海農政局地方参事官室(愛知支局)行政専門員

事務局

27	事務局長	牧 勝彦	碧南市経済環境部農業水産課長
28	支局長	石川 好之	JAあいち中央営農部副部長兼碧南営農センター長
29		本多 真	碧南市経済環境部農業水産課農政振興係長
30	事務局	北村 信晃	碧南市経済環境部農業水産課農政振興係主事
31		近藤 深月	碧南市経済環境部農業水産課農政振興係主事

第1号議案

令和3年度事業報告及び収支決算について

1. 令和3年度事業報告

国（東海農政局）と協議の上、作成した地域推進活動計画である「経営所得安定対策に係る年間スケジュール」に基づき、経営所得安定対策を推進するとともに、次の事業を実施した。

(1) 会議の開催

開催日	会議名	出席会員等数	場所等
令和3年4月26日(月)	地域協議会	21名	市役所議員大会議室
8月24日(火)	〃	22名	〃
令和4年1月26日(水)	〃	—	開催中止（書面決議）

(2) 加工用米取組事業

需要者（九重味淋株式会社）との契約数量である650俵を確保するため、引き続き湿田地域へ小麦作付後の二毛作作付として実施した。

実施者数	実施箇所	作付面積（㎡）
6名	見合町地内	14,974
	荒居町地内	28,556
	白砂町地内	18,868
	平和町地内	30,198
作付面積合計		92,596

(3) 内部監査の実施

開催日	場所	結果
令和3年10月1日	市役所農業水産課	1 計数的な誤りはなかった。 2 その他事務処理について、良好と認めた。
令和4年3月31日	〃	

《参考》令和3年度経営所得安定対策の取組結果

交付金名	件数		面積 (ha)	金額 (円)
水田活用の直接支払交付金	4			47,829,521
麦	4	オペ4	77.15	26,999,000
大豆		オペ4	67.89	0
加工用米		オペ4	6.29	0
飼料用米			0	0
産地交付金	4	オペ4		20,830,521
畑作物の直接支払交付金	4			46,535,189
営農継続支払	4	オペ4		29,018,000
数量払	4	オペ4		17,517,189

※大豆、加工用米及び飼料用米（二毛作）については、産地交付金で対応。

※水田活用の直接支払交付金の配分先

交付金額		
47,829,521 円（産地交付金 20,830,521 円を含む）		
配分額（円）		
耕作地権者	オペレーター	合計
25,341,876	22,487,645	47,829,521

2 令和3年度収支決算

(1) 収支計算書（水田農業経営所得安定対策推進費補助金の収支決算）

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

単位：円

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
1 水田農業経営所得安定対策推進費補助金	436,000	444,500	8,500	
2 碧南市農業水産振興対策事業費補助金	8,500	8,500	0	
収入合計（A）	444,500	453,000	8,500	
II 支出の部				
1 旅費	0	0	0	
2 事務等経費	192,500	192,500	0	システム使用料
3 委託費	252,000	252,000	0	作付確認委託
支出合計（B）	444,500	444,500	0	
収支差額（A）－（B）	0	8,500	8,500	
碧南市へ返還（C）	0	8,500	8,500	
繰越金（D）	0	0	0	

(2) 正味財産増減計算書（水田農業経営所得安定対策推進費補助金）

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
1 經常収益			
(1) 受取補助金等			
水田農業経営所得安定対策推進費補助金	444,500	471,974	▲ 27,474
碧南市農業水産振興対策事業費補助金	8,500	0	8,500
(2) 貯金利息	0	0	0
經常収益計	453,000	471,974	▲ 18,974
2 經常費用			
(1) 事業費等			
水田農業経営所得安定対策推進費	444,500	471,974	▲ 27,474
碧南市へ返還	8,500	0	8,500
經常費用計	453,000	0	▲ 18,974
当期經常増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	0	0	0

(3) 貸借対照表（水田農業経営所得安定対策推進費補助金）

令和4年3月31日 現在

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
普通預金（水田農業経営所得安定対策推進費補助金）	0	0	0
資産合計	0	0	0
II 負債の部			
流動負債			
預り金	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
正味財産	0	0	0
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	0	0	0

(4) 財産目録（水田農業経営所得安定対策推進費補助金）

令和4年3月31日 現在

単位：円

科目	金額
(I 資産の部) 流動資産	0
資産合計	0
(II 負債の部) 流動負債	0
負債合計	0
(III 正味財産の部) 正味財産	0
正味財産合計	0

(5) 収支計算書（碧南市農業水産振興対策事業費補助金の収支決算）

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

単位：円

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 収入の部				
1 碧南市農業水産振興対策事業費補助金	191,500	191,500	0	
2 雑収入	0	0	0	
収入合計（A）	191,500	191,500	0	
II 支出の部				
1 事務等経費	191,500	34,380	▲ 157,120	消耗品等
支出合計（B）	191,500	34,380	▲ 157,120	
収支差額（A）－（B）	0	157,120	157,120	
碧南市へ返還（C）	0	157,120	157,120	
繰越金（D）	0	0	0	

(6) 正味財産増減計算書（碧南市農業水産振興対策事業費補助金）

自 令和 3年4月 1日

至 令和 4年3月31日

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
1 經常収益			
(1) 受取補助金等			
碧南市農業水産振興対策事業費補助金	191,500	200,000	▲ 8,500
(2) 貯金利息	0	0	0
(3) 雑収入	0	0	0
經常収益計	191,500	200,000	▲ 8,500
2 經常費用			
(1) 事業費等			
碧南市農業水産振興対策事業費	34,380	15,407	18,973
碧南市へ返還	157,120	184,593	▲ 27,473
經常費用計	191,500	200,000	▲ 8,500
当期經常増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	0	0
II 正味財産期末残高	0	0	0

(7) 貸借対照表（碧南市農業水産振興対策事業費補助金）

令和 4 年 3 月 3 1 日 現在

単位：円

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
流動資産			
普通預金（碧南市農業水産振興対策事業費補助金）	0	0	0
資産合計	0	0	0
II 負債の部			
流動負債			
預り金	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
正味財産	0	0	0
正味財産合計	0	0	0
負債及び正味財産合計	0	0	0

(8) 財産目録（碧南市農業水産振興対策事業費補助金）

令和 4 年 3 月 3 1 日 現在

単位：円

科目	金額
(I 資産の部) 流動資産	0
資産合計	0
(II 負債の部) 流動負債	0
負債合計	0
(III 正味財産の部) 正味財産	0
正味財産合計	0

令和4年4月7日

碧南市地域農業再生協議会

会長 瀬 戸 田 政 信 殿

碧南市地域農業再生協議会

監事 藤 浦 利 吉

監事 三 島 孝 二

監 査 報 告 書

このことについて、関係書類を慎重に監査し、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 計数的な誤りはなかった。
- 2 その他事務処理について、良好と認めた。

第2号議案

令和4年度事業計画及び収支予算（案）について

1 令和4年度事業計画

国（東海農政局）と協議の上、作成した地域推進活動計画である「経営所得安定対策等に係る年間スケジュール」に基づき、経営所得安定対策を実施する。また、産地交付金の活用方法を定め（18ページから21ページまでを参照）、本対策推進を図る。

また下記(1)、(2)の事業を前年度に引き続き実施する。

(1) 加工用米取組事業

これまで需要者（九重味淋株式会社）との契約により事業を実施してきたが、令和3年度をもって契約期間が満了し、今年度以降分について契約が更新されなかったため、実施しない。

(2) 飼料用米取組事業

需要見込みに応じた主食用米作付を維持するとともに、湿田地域等での円滑な生産調整実施の観点から、転作作物の一つとして、飼料用米の作付を検討する。

(3) 転作協力金の配分について

令和4年度については、産地交付金は前年度と同程度であった。よって、転作協力金の配分単価は以下のとおりとする。

作付の内容	年度	対象者	
		耕作地権者	オペレーター
小麦又は大豆のみ（単作）	R3 年度	22,000 円	18,066 円
	R4 年度	22,000 円	18,000 円程度
小麦、大豆の二毛作	R3 年度	27,000 円	23,066 円
	R4 年度	27,000 円	23,000 円程度

《参考》令和4年度10aあたりの配分額

産地交付金の交付単価の合計は、単作で15,000円、二毛作で25,000円となる見込み（水田収益力強化ビジョン承認未済）である（単価調整を行う場合もあり）。

このうち、品質向上助成の要件は、作付けの際に必ず土壌改良材を投入することとなっている（10,000円）。また、戦略作物の基幹作付に対しては、水田活用の直接支払交付金として35,000円が交付される。

以上のことから、単作の交付単価の合計50,000円及び二毛作の交付単価の合計60,000円のうちそれぞれ10,000円を土壌改良材投入費用として差し引き、残額を耕作地権者とオペレーターに配分することとする。

- ・単 作 → 12,000円（生産性向上助成）＋ 3,000円（団地化助成）＋
35,000円（戦略作物助成）－ 10,000円（土壌改良材費用）
＝40,000円 → 地権者22,000円：オペ18,000円
- ・二毛作 → 12,000円（品質向上助成）＋ 3,000円（団地化助成）＋
10,000円（二毛作助成）＋ 35,000円（戦略作物助成）－
10,000円（土壌改良材費用）
＝50,000円 → 地権者27,000円：オペ23,000円

(別紙)

令和4年度 産地交付金の当初配分額

(単位：円)

名 称	令和4年度 配分額①	(参考) 令和3年度 配分額
愛知県への配分額	1,567,564,000	1,567,564,000
うち県設定額	328,522,000	323,098,000
うち地域設定額	1,239,042,000	1,244,466,000

(単位：円)

名 称	令和4年度 配分額	(参考) 令和3年度 配分額
名古屋市地域農業再生協議会	6,218,000	6,441,000
一宮市地域農政推進協議会	3,842,000	3,980,000
瀬戸市地域農業再生協議会	685,000	685,000
春日井市地域農業再生協議会	87,000	88,000
大山市地域農業再生協議会	3,119,000	3,144,000
江南市農業再生協議会	501,000	505,000
小牧市地域農業再生協議会	294,000	305,000
稲沢市農業再生協議会	27,230,000	28,204,000
尾張旭市地域農業再生協議会	414,000	429,000
岩倉市地域農業再生協議会	1,630,000	1,689,000
豊明市地域農業再生協議会	5,655,000	5,655,000
日進市地域農業再生協議会	278,000	278,000
西春日井農業再生協議会	85,000	89,000
長久手市地域農業再生協議会	356,000	356,000
東郷町地域農業再生協議会	745,000	745,000
大口町地域農業再生協議会	10,584,000	10,963,000
扶桑町地域農業再生協議会	1,819,000	1,819,000
海部東地域農業再生協議会	5,788,000	5,995,000
あまそだち農業再生協議会	76,928,000	77,530,000
海部南部地域農業再生協議会	128,342,000	128,342,000
知多地域農業再生協議会	30,588,000	31,682,000
岡崎幸田地域農業再生協議会	129,439,000	129,439,000
碧南市地域農業再生協議会	19,011,000	19,011,000
刈谷市地域農業再生協議会	56,826,000	56,826,000
安城市地域農業再生協議会	244,879,000	244,879,000
西尾地域農業再生協議会	214,622,000	214,622,000
知立市地域農業再生協議会	22,609,000	22,609,000
高浜市地域農業再生協議会	10,289,000	10,289,000
豊田市地域農業再生協議会	162,682,000	162,682,000
みよし市地域農業再生協議会	12,712,000	12,712,000
新城市地域農業再生協議会	16,299,000	16,427,000
設楽町農業再生協議会	2,556,000	2,648,000
東栄町農業再生協議会	208,000	208,000
豊根村地域農業再生協議会	644,000	644,000
豊橋市地域農業再生協議会	13,833,000	14,328,000
豊川市地域農業再生協議会	17,183,000	17,798,000
蒲郡市地域農業再生協議会	72,000	72,000
田原市地域農業再生協議会	9,990,000	10,348,000
合 計	1,239,042,000	1,244,466,000

令和4年度碧南市地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当地域の全水田面積に占める主食用米面積の割合は、約70%で、主な転換作物としては、小麦、大豆の面積が多く、小麦の後に大豆の作付を行うブロックローテーションに取り組んでおり、土地利用型作物の担い手への集積が進んでいる。

一方で、農業者の高齢化が進んでおり、農家戸数の減少がみられることから、担い手への一層の集積による水田面積の維持が課題となっている。

今後も主食用米の需要減少が予測される中で、水田面積の維持を図る上では、更なる主食用米以外への転換を進める必要があるが、一部水田において、排水不良や酸性土壌等により、麦、大豆等の収量低下を招いており、その是正が必要となっている。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

当地域では、水田構造を維持したまま、ブロックローテーションを採用して転換作物として小麦、大豆を実施している。

今後も引き続き、ブロックローテーションを維持し、小麦、大豆の収益率向上に努める。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

当地域では、水田構造のまま野菜や果樹といった作物の栽培を行っている水田が多くある。耕作者の栽培状況に注視し、耕作状況の把握に努めていく。

また水田構造を残したままその他作物を栽培する農地の耕作者には、今後水稻を作付した場合、営農計画書の提出の際に当協議会へ報告するよう通知し、転作のローテーションへの参加を促しているため、引き続き実施していく。

水田の利用状況の点検結果を踏まえた水田の畑地化については、市内の土地の特性上、湿田や水が付きにくい圃場が多く、困難であるケースが多いため、ブロックローテーションの維持による既存の転換作物の収益率向上に努めていく。今後、畑地化の可能性がある土地があった場合は、畑地化支援を活用した畑地化を促進していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

前年の需要動向や集荷業者等の意向を勘案しつつ米の生産を行う。また、地域の気候に合った品種の作付を行っていく。

(2) 備蓄米

該当なし

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

当地域内に大豆の作付に適さない排水不良の水田があることから、多収品種を含めた飼料用米の導入を検討する。

イ 米粉用米、ウ 新市場開拓用米、エ WCS 用稲

該当なし

オ 加工用米

該当なし

(4) 麦、大豆、飼料作物

水田の生産性向上ため、麦、大豆の団地化及びブロックローテーションによる作付を行っているが、今後も引き続き、取り組みを維持することで、更なる生産振興を図る。また、麦、大豆等の作付にあたっては、産地交付金を活用して、土壌の酸性化を防ぐための土壌改良材の施用を行う等、品質向上に努める。

(5) そば、なたね

該当なし

(6) 地力増進作物

該当なし

(7) 高収益作物

該当なし

5 作物ごとの作付予定面積等

別紙のとおり

6 課題解決に向けた取組及び目標

別紙のとおり

7 産地交付金の活用方法の概要

別紙のとおり

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※ 農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	297.5	0	290.4	0	288	0
備蓄米	-	-	-	-	-	-
飼料用米	0	0	0.1	0	0.3	0
米粉用米	-	-	-	-	-	-
新市場開拓用米	-	-	-	-	-	-
WCS用稲	-	-	-	-	-	-
加工用米	6.2	6.2	0	0	0	0
麦	77	77	73.5	73.5	82	82
大豆	67.7	67.7	73.5	73.5	82	82
飼料作物	-	-	-	-	-	-
・子実用とうもろこし	-	-	-	-	-	-
そば	-	-	-	-	-	-
なたね	-	-	-	-	-	-
地力増進作物	-	-	-	-	-	-
高収益作物	-	-	-	-	-	-
・野菜	-	-	-	-	-	-
・花き・花木	-	-	-	-	-	-
・果樹	-	-	-	-	-	-
・その他の高収益作物	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-	-
畑地化	-	-	-	-	-	-

※果樹については、湿田が多いため推進作物から除外している。

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	小麦、大豆 （基幹作）	戦略作物の生産性向上 への助成	小麦単収 大豆単収	（3年度）540kg/10a （3年度）113kg/10a	（5年度）560kg/10a （5年度）120kg/10a
2	大豆 （二毛作）	団地化された水田にお ける二毛作への助成	大豆取組面積	（3年度）67.8ha	（5年度）73.0ha
3	小麦、大豆 （基幹作）	団地化された水田にお ける小麦、大豆への助 成 （団地化助成）	小麦取組面積 大豆取組面積 計	（3年度）77.1ha （3年度）0ha （3年度）77.1ha	（5年度）82.0ha （5年度）0.3ha （5年度）82.3ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要
都道府県名:愛知県
協議会名:碧南市地域農業再生協議会

新様式(公表用)

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	戦路作物の生産性向上への助成	1	12,000	小麦、大豆	団地化
2	団地化された水田における二毛作への助成	2	10,000	大豆	団地化、二毛作の実施
3	団地化された水田における小麦、大豆への助成(団地化助成)	1	4,172	小麦、大豆	団地化

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができます。なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的な要件のうち取組要件等を記載して下さい。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	碧南市地域農業再生協議会			整理番号	1
使途名	戦略作物の生産性向上への助成				
対象作物	小麦、大豆（基幹作）				
単 価	12,000円／10a （追加配分に応じて15,000円／10aを上限として単価を増額調整する）				
課 題	本地域では、ブロックローテーションによる麦、大豆等の作付を行っている。より生産性の向上を図るため、栽培暦及び対象水田の状況に応じた適切な排水管理、土壌改良材の投入、病害虫の防除を行うことにより、転作作物の生産性向上を図る。				
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度
	小麦単収 大豆単収	目標	450kg 140kg	500kg 100kg	550kg 110kg
		実績	567kg 97kg	540kg 113kg	—
内 容	ブロックローテーションにより団地化された水田において、小麦及び大豆（基幹作）の作付を実施する担い手が、適切な排水管理及び土壌改良材の施用を行った面積に対して助成する。				
具体的要件	1 交付対象者 経営所得安定対策等交付金交付申請経営体のうち、碧南市に拠点を置く認定農業者 2 交付対象水田 本地域協議会及び他地域の地域協議会の計画による、ブロックローテーションにより団地化された水田 3 生産性向上の要件 ブロックローテーションによる団地化の実施 4 その他の要件 (1) 対象作物の収穫年度に主食用水稻の作付が行われていないこと。 (2) 通常の収穫を挙げ得るに必要な植栽密度があるとともに、通常の肥培管理が行われていること。 (3) 土壌改良材の投入（100kg/10a以上）が行われていること。 ※ただし、土壌及び地力の状況に応じて、施用量を加減する。 (4) 圃場条件に合った排水対策を実施すること。 (5) 収穫物を出荷・販売していること。				
取組の 確認方法	1 交付対象者 経営所得安定対策等交付金交付申請書により確認 2 交付面積 水田台帳、ブロックローテーション計画図及び現地確認により確認 3 生産向上の要件 ブロックローテーション計画図により確認 4 その他の要件 (1) 現地確認による確認 (2) 作業日誌による確認 (3) 作業日誌による確認 (4) 現地確認による確認 (5) 売渡が確認できる出荷・販売伝票による確認 (6) 防除薬剤購入明細等による確認				
成果等の 確認方法	東海農林水産統計年報により、碧南市単収を確認				
備考	1 同一圃場において、同一年度内に複数回栽培がされた場合は、そのうち一回を助成の対象とする。 2 整理番号3との重複交付はできるものとする。				

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。
 ※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。
 ※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	碧南市地域農業再生協議会				整理番号	2
使途名	団地化された水田における二毛作への助成					
対象作物	大豆(二毛作)					
単 価	10,000円／10a(追加配分に応じて12,000円／10aを上限として単価を増額調整する)					
課 題	戦略作物の本作化において、基幹作のみでは主食用水稲と比べ収益性に乏しく、収益性を維持していくためには、水田をフルに活用した収益の向上を図る必要がある。 このため、二毛作による農地の高度利用を推進し、水田の有効活用を行うことで、戦略作物の作付による収益向上を進める。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	大豆取組面積	目標	73.0ha	71.0ha	72.0ha	73.0ha
		実績	70.6ha	67.8ha	—	—
内 容	担い手がブロックローテーションにより団地化された水田において大豆の二毛作作付を実施した面積に応じて助成する。					
具体的要件	1 交付対象者 経営所得安定対策等交付金交付申請経営体のうち、碧南市に拠点を置く認定農業者 2 交付対象水田 本地域協議会及び他地域の地域協議会の計画による、ブロックローテーションにより団地化された水田 3 生産性向上の要件 4 その他の要件 (1) 通常の収穫を挙げ得るに必要な植栽密度があるとともに、通常の肥培管理が行われていること。 (2) 収穫物を出荷・販売していること。 (3) 戦略作物助成の対象とならないこと。					
取組の 確認方法	1 交付対象者 経営所得安定対策等交付金交付申請書により確認 2 交付面積 水田台帳、ブロックローテーション計画図及び現地確認により確認 3 生産向上の要件 ブロックローテーション計画図により確認 4 その他の要件 作業日誌、売渡が確認できる出荷・販売伝票等により確認					
成果等の 確認方法	水田台帳、ブロックローテーション計画図及び現地確認により確認する。					
備考	整理番号22との重複交付はできるものとする。					

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	碧南市地域農業再生協議会			整理番号	3
使途名	団地化された水田における小麦、大豆への助成(団地化助成)				
対象作物	小麦、大豆米(基幹作)				
単 価	4,172円/10a (追加配分に応じて6,000円/10aを上限として単価を増額調整する)				
課 題	戦略作物の本作化に向けて、地域が一体となったブロックローテーションによる団地化に取り組み、作業効率の向上や生産コストの低減を図る必要がある。このため、団地化された水田を有効活用して、小麦又は大豆の収益を向上させる。				
目 標			令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
	小麦取組面積 大豆取組面積 計	目標	82.0ha 0.3ha 82.3ha	80.5ha 0.1ha 80.6ha	81.0ha 0.2ha 81.2ha
		実績	80.2ha 0ha 80.2ha	77.1ha 0ha 77.1ha	— — —
内 容	担い手がブロックローテーションにより団地化された水田において、基幹作物として小麦又は大豆の作付を実施した面積に応じて助成する。				
具体的要件	1 交付対象者 経営所得安定対策等交付金交付申請経営体のうち、碧南市に拠点を置く認定農業者 2 交付対象水田 本地域協議会及び他地域の地域協議会の計画による、ブロックローテーションにより団地化された水田 3 生産性向上の要件 ブロックローテーションによる団地化の実施 4 その他の要件 (1) 通常の収穫を挙げ得るに必要な植栽密度があるとともに、通常の肥培管理が行われていること。 (2) 収穫物を出荷・販売していること。				
取組の 確認方法	1 交付対象者 経営所得安定対策等交付金交付申請書により確認 2 交付面積 水田台帳、ブロックローテーション計画図及び現地確認により確認 3 生産向上の要件 ブロックローテーション計画図により確認 4 その他の要件 売渡が確認できる出荷・販売伝票等により確認				
成果等の 確認方法	水田台帳、ブロックローテーション計画図及び現地確認により確認。				
備考	整理番号1との重複交付はできるものとする。				

※ 課題や目標の数値については、必要に応じて参考となるデータを添付してください。

※ 目標が複数ある場合は、欄を追加して全ての目標について記載してください。

※ 令和4年度から新規に設定した目標については、令和2年度及び3年度の目標の記載は不要です。

2 令和4年度収支予算

(1) 収支予算書（水田農業経営所得安定対策推進費補助金）

収入金額 1,944,500円
 支出金額 1,944,500円
 差引金額 0円

単位：円

科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	備考
I 収入の部				
1 水田農業経営所得安定対策推進費補助金	409,000	436,000	▲ 27,000	
2 水田農業経営所得安定対策推進費補助金（eMAFF移行分）	1,500,000	0	1,500,000	
3 碧南市農業水産振興対策事業費補助金	35,500	8,500	27,000	
収入合計（A）	1,944,500	444,500	1,500,000	
II 支出の部				
1 旅費	0	0	0	
2 事務等経費	192,500	192,500	0	システム使用料
3 委託費	1,752,000	252,000	1,500,000	水田台帳データ eMAFF移行業務委託、作付確認委託
支出合計（B）	1,944,500	444,500	1,500,000	
収支差額（A）－（B）	0	0	0	
繰越金（C）	0	0	0	

(2) 収支予算書（碧南市農業水産振興対策事業費補助金）

収入金額 164,500円

支出金額 164,500円

差引金額 0円

単位：円

科目	本年度予算額	前年度予算額	差異	備考
I 収入の部				
碧南市農業水産振興対策事業費補助金	164,500	191,500	▲ 27,000	
収入合計（A）	164,500	191,500	▲ 27,000	
II 支出の部				
1 事務等経費	164,500	191,500	▲ 27,000	消耗品等
支出合計（B）	164,500	191,500	▲ 27,000	
収支差額（A）－（B）	0	0	0	
碧南市へ返還（C）	0	0	0	
繰越金（D）	0	0	0	

